

岐阜県“人間と性”教育研究協議会 2022年11月例会

『デジタル性暴力の加害者にならないために』

講師：金尻 カズナ さん (NPO法人 ぱっぷす (ポルノ被害と性暴力を考える会) 理事長)

※ 会場で、講師とは Zoom 配信し参加者は対面の例会です。(ハイブリットでは行いません。)

○日 時： 2022年11月27日(日) 13:40~16:20

○会 場： 岐阜市北部コミュニティセンター防災会議室 (岐阜市八代1丁目11-13)

<岐阜バス>三田洞線「福光球場前」下車徒歩1分

○参加費： 岐阜性教協会員 500円、一般 1,000円 (当日受付にてお支払いください)

○申込方法： 11月21日(月)までに、岐阜性教協ホームページの申込みフォームまたはメールアドレス ningento@plum.ocn.ne.jp 宛、「お名前・電話番号・一般 or 岐阜性教協会員」を記載のうえお申し込みください。コロナ禍で、当日申し込み受付はいたしません。開催変更の場合、詳細は11月中旬ごろ、岐阜性教協のホームページにてお知らせします。(申込者にはメールします。)

【講師のプロフィール】金尻カズナさん NPO法人 ぱっぷす (ポルノ被害と性暴力を考える会) 理事長

2004年からアダルトビデオを含むポルノ被害の深刻さを社会に訴えるために社会活動を始め、セクシュアリティをめぐるさまざまな問題について取り組む。その中で多くの女性や子どもたち、時には男性ですら、性産業によって傷つきながら被害を訴えられない現実がみえてきた。

2011年以降、ネット社会によってこれまでとは次元の違う性暴力・性被害が起きており、AV出演や性産業で困った問題に直面された方への相談支援、リベンジポルノ・子どもポルノの被害相談支援など「デジタル性暴力」をめぐる相談支援に携わっている。もともとは相談支援とは全く別の業界(ネットワークやシステムのエンジニア)にいたことから、これまでの知識を活かしてこの問題に取り組んでいる。

【金尻カズナさんからのメッセージ】

ぱっぷすでは、性的搾取やデジタル性暴力についての相談窓口を開設しています。スマートフォンの加速度的な普及により、中学生や高校生であれば児童ポルノ・リベンジポルノ、18歳を境に意に反してアダルトビデオや性風俗産業に巻き込まれる内容の相談が後を絶ちません。4月から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられましたが、被害の更なる低年齢化の懸念もあります。デジタル性暴力の被害予防だけでなく、加害者にならないためにどうしていけば良いか一緒に考えていきます。

<お願い>

新型コロナウイルス感染症対策について十分な対策を行いますが、参加者の皆様に以下お願いします。

- 1.当日はマスク着用をお願いします。咳エチケット、手洗い、手指の消毒にご協力をお願いします。
- 2.当日検温し、発熱、咳など体調が良くない場合は、参加をお控えください。
- 3.事前申し込みで、記載いただく氏名、連絡先について、万一施設内で感染者が発生した場合の濃厚接触者の把握に利用することがあることをご了承ください。

岐阜県“人間と性”教育研究協議会

〒500-8879

岐阜市徹明通7-13 岐阜県教育会館310

TEL&FAX:058-201-6730

(木曜日午後事務所オープン)

URL:<http://ningento.sakura.ne.jp>

E-mail:ningento@plum.ocn.ne.jp